

## 「IoT×5G×SDGsパートナー協創プロジェクト」を開始 ～IoTおよび5Gを活用し、パートナー企業と共にSDGsの達成に向けた事業創出をめざす～

株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、「ドコモ5Gオープンパートナープログラム<sup>※1</sup>」に参加しているパートナー企業・団体(1,900超<sup>※2</sup>)のうち、特にIoT分野におけるソリューション協創とSDGs<sup>※3</sup>達成に向けてご協力いただけるパートナー(以下、パートナー)を対象に、新たな事業創出に向けた検討を行う「IoT×5G×SDGsパートナー協創プロジェクト」(以下、本プロジェクト)を、2018年12月6日(木)から開始致します。

SDGsとは国連(国際連合)が掲げる「持続可能な開発目標」であり、17のゴールと169のターゲットから構成され、社会共通の目標として位置付けられているものであり、2030年までの達成に向けて取り組むべきテーマとして設定されています。日本政府においてもSDGs推進本部が設置され、国家戦略として積極的な取り組みが進められています。SDGsの達成には、産・官・民の複数のプレイヤーが相互に連携することが重要であり、パートナーとの新しい価値の協創をめざすドコモの中期方針とも合致しております。

本プロジェクトは、5GやIoTなどの“つなげる技術”を軸として、複数パートナーが持つそれぞれの分野を統合し、SDGsで掲げられる社会課題の解決を図るとともに、持続的に活動しうる新たな事業の創出をめざすものです。2018年12月6日(木)、7日(金)に開催する、「DOCOMO Open House 2018」をスタートラインとし、2019年9月の5Gプレ商用サービスでの実証実験および、2020年の5G商用サービス開始をめざして、パートナーとの協創を実現します。

具体的な取り組みとして、パートナーとワーキンググループ(以下、WG)を立ち上げ、SDGsの各目標の達成に向けて、WG内で新たな事業創出や、WG間で情報共有のためのワークショップイベントなどを行います。WGの運営にあたっては、中心的に活動いただく企業をドコモとの共同幹事企業として、複数企業に参画いただくことで実効性ある協創スキームを構築します。ドコモは、WGメンバーに対して、「検証環境や通信機器の先行提供」のほか、「法人チャネルを活用した販路の拡大」、「コーポレートサイトへの掲載」、「各種展示会での共同出展」などを行い、取り組みをサポートします。

WGのテーマとして、重要な社会課題の中から、「少子高齢化に従う医療費増加・介護負担の増加」、「製造業における労働力不足や技能継承の難しさ」、「核家族化、共働き家族増加による安心安全の確保」をテーマに、3つのWGを立ち上げ、取り組んでまいります。

ドコモとともにそれぞれのWGを統括する共同幹事企業は、富士通株式会社、ユニアデックス株式会社、エリーパワー株式会社となります。

今後、さまざまな企業・団体に、本プロジェクトにご参加いただくことで、幅広い業界のパートナーとの連携を強化し、5G時代の新たなIoTソリューション創出、SDGs達成に向けた取り組みを加速させてまいります。

なお、本プロジェクトに関する内容については、イベント「DOCOMO Open House 2018」内の5Gパートナープログラムゾーンで実施する「IoT×5Gスペシャルセッション」※4で12月6日(木)13:00から詳しくご紹介いたします。

※1 「ドコモ5Gオープンパートナープログラム」とは、本プログラムに参加するパートナー企業や団体に対し、5Gの技術や仕様に関する情報提供や、パートナー間の意見交換を行う5Gパートナーワークショップの場などを提供するものです。

※2 2018年11月末現在。

※3 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsの目標は、「3. すべての人に健康と福祉を」、「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「11. 住み続けられるまちづくりを」など、全部で17あります。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html> (外務省ホームページ)

※4 「DOCOMO Open House 2018」ホームページをご参考ください。

<https://www.docomo.ne.jp/corporate/technology/rd/openhouse/openhouse2018/>

本プロジェクトに関するお問い合わせ先
NTTドコモ 法人ビジネス本部 IoTビジネス部 事業企画担当 TEL:03-5156-3200

## 「IoT×5G×SDGsパートナー協創プロジェクト」概要

### 1. 目的

パートナーとの5GとIoTを軸としたソリューション協創し、社会課題の解決、SDGsの達成に貢献します。  
また、パートナーの収益につながる事業創出、および新たな市場の創出を図ります。

### 2. 実施期間

2018年12月6日(木)～



### 3. 対象


「ドコモ5Gオープンパートナープログラム」に参加している企業・団体のうち、特にIoT分野におけるソリューション協創、SDGs達成に向けてご協力いただける企業

### 4. パートナーおよびドコモの役割

パートナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな事業創出検討</li> <li>・実証実験に向けた開発、試験</li> <li>・5Gオープンクラウドを活用した実証実験、検証</li> </ul>
ドコモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな事業創出検討</li> <li>・検証環境や通信機器の提供</li> <li>・その他、本プロジェクトにおける活動の全般サポート</li> </ul>

### 5. ワーキンググループの具体例

共同幹事企業	概要	対応するSDGsの目標
富士通株式会社	「高齢者の単独世帯化」や「介護需給のギャップ」などの社会課題解決に向け、高齢者を含むすべての人が社会とつながり、安心して暮らせる社会の実現に向けソリューションの創出をめざす。	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>
ユニアデックス株式会社	産業界における「労働力の減少」「技能継承の難しさ」などの社会課題解決に向け、機械学習/AI を用いた設備点検・診断サービスなどのIoTソリューションの創出をめざす。	 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>

<p>エリーパワー 株式会社</p>	<p>少子高齢化、核家族化、共働き家族増加による安心安全の確保に向けて、安全性の高い蓄電池を起点とした、住みやすい街づくりに向け、ソリューションの創出をめざす。</p>	 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>
------------------------	--	--

参考

## 共同幹事企業の概要

富士通株式会社	
会社名	富士通株式会社
代表者	代表取締役社長 田中 達也
所在地	東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
資本金	3,246億円
従業員数	140,365名(2018年5月31日現在)
事業内容	テクノロジーソリューション事業・ユビキタスソリューション事業 デバイスソリューション事業

ユニアデックス株式会社	
会社名	ユニアデックス株式会社
代表者	代表取締役社長 東 常夫
所在地	東京都江東区豊洲1-1-1
資本金	7億5,000万円
従業員数	2,552名(2018年4月1日現在)
事業内容	情報／通信システム構築に係わる企画／設計／開発の受託 コンピューターシステムの運用／管理の受託 ハードウェア／ソフトウェアの販売／賃貸ならびにソフトウェアの開発 コンピューターシステムの構築、導入、利用およびソフトウェア開発に関する情報ならびにサービスの提供 コンピューターシステムの保守サービス コンピューターの関連機器、付属品の開発／製造ならびに販売 電気工事および電気通信工事の請負／設計／施工ならびに監理 電気通信事業法に定める電気通信事業 医療関連コンピューター機器の販売・賃貸および保守サービス

エリーパワー株式会社	
会社名	エリーパワー株式会社
代表者	代表取締役社長 吉田 博一
所在地	東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勸業ビルディング
資本金	157億7,776万円(2017年7月20日現在)
従業員数	337名(2018年4月1日現在)
事業内容	大型リチウムイオン電池および蓄電システムの開発、製造、販売